

臨床検査に関するお知らせ



株式会社セントラル医学検査研究所

TEL(本社)029-225-8858 (下館)0296-28-5900

先生各位

平成 25 年 1 月

A-13-02

新規実施項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、下記の検査項目を新たに受託開始致しますので、ご利用頂きたくご案内致します。

今後とも引き続きお引き立てのほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

- ◆ 実施日 平成 25 年 2 月 1 日 (金) ご依頼分より
- ◆ 新規項目

項目コード	12140
検査項目	百日咳菌抗体
検査方法	EIA 法
検体量(保存方法)	血清 0.5mL(冷蔵)
基準値(単位)	PT-IgG 抗体 :10 未満 FHA-IgG 抗体:10 未満 (EU/mL)
所要日数	4~7 日
実施料/判断料	294 点/144 点(免疫学的検査)

- ◆ 最終受託日 平成 25 年 3 月 29 日 (金) ご依頼分をもって受託中止
- ◆ 受託中止項目

2012 年 検査案内	項目 コード	検査項目	検査方法	実施料 判断料	備考
p.21	12130	百日咳菌抗体 (半定量)	細菌凝集反応	80 点 144 点 (免疫学的検査)	試薬製造中止の為

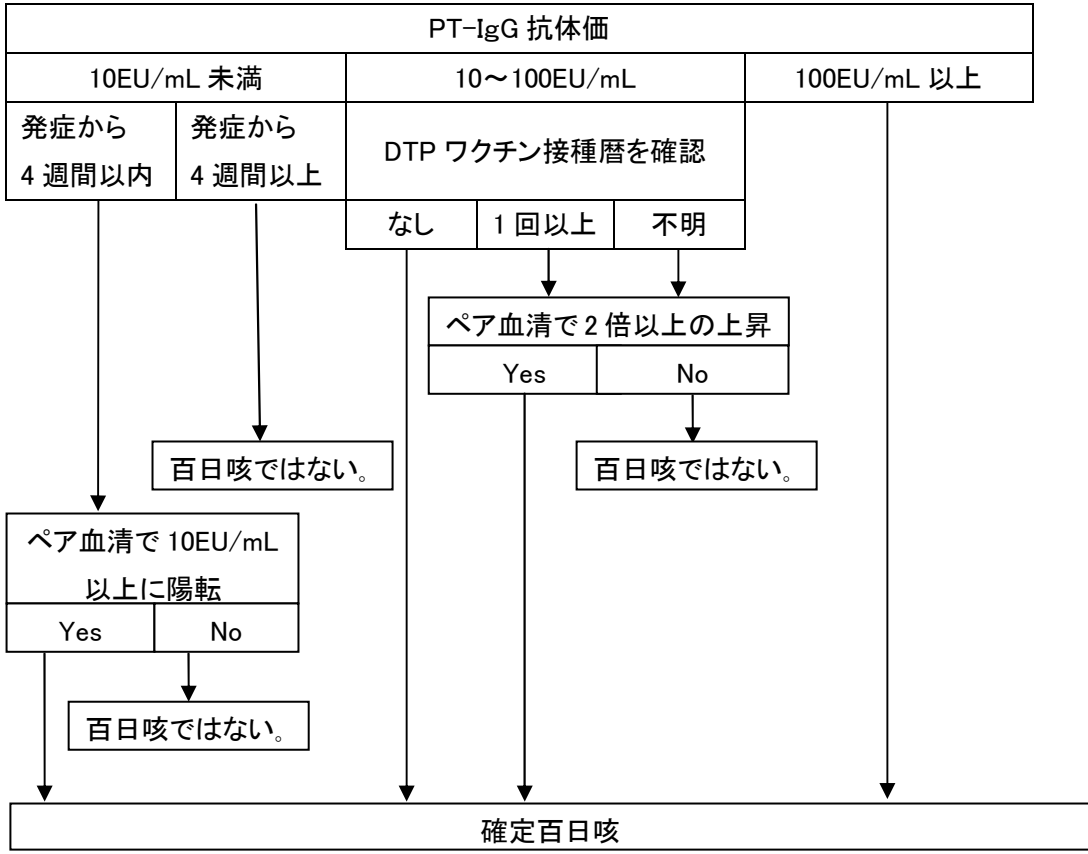
裏面に続く

百日咳は、百日咳菌(*Bordetella pertussis*)によって引き起こされる瘧咳発作を特徴とする急性気道感染症で、1歳未満の乳児、特に生後6ヶ月以下では、重症化しやすく、肺炎や脳症を起こすことがあります。世界各国でDPT三種混合ワクチン接種(ジフテリア・百日咳・破傷風)が実施されており、近年、発生数は減っていますが、接種率の低下により、ワクチン未接種者などへの散発的な流行がみられます。成人は発作性の咳嗽を示さず、咳が長期にわたって持続するなど、小児に比べ軽症である場合が多く、ワクチン未接種者などへの感染源として注意が必要です。

本検査は百日咳菌感染の診断の補助として、血清中の抗百日咳毒素(PT : pertussis toxin)-IgG抗体及び抗繊維状赤血球凝集素(FHA : filamentous hemagglutinin)-IgG抗体を同時に測定いたします。PT及びFHAは百日咳菌が持つ重要な構成要素であり、無細胞ワクチンの成分として使用されています。FHA抗体はパラ百日咳菌などと交差反応を示すため、感染の診断に関しては主にPT抗体が評価されますが、発症後4週間経過すると、90%以上でPT抗体及びFHA抗体の検出が可能です。発症後4週間以内でも、PT抗体において100EU/mL以上であれば、確定百日咳とされています。

(咳嗽に関するガイドライン第2版 社団法人日本呼吸器学会 2012.07より)

▼百日せき血清診断の目安(参考)(試薬添付文書より引用)



【測定法の参考文献】 岡田賢司:医学と薬学 65,531-536,2011.